落日のパトス
5
Rakujitsu
no
PATHOS
Presented by
Tsuyatsuya
艶々
ヤングチャンピオン
コミックス
YC COMICS
漫画村

RAKUJITSU-NO-
PATHOS
落日のパトス
5
Presented by
Tsuyatsuya
MONYOXILE
ヤングチャンピオン
コミックス
YC COMICS

RAKUJITSU-NO-PATHOS
落日のパトス 5

CONTENTS

[初出] 別冊ヤングチャンピオン
2017年6月号~12月号

※この作品はフィクションであり、実在の
人物・団体等には一切関係ありません。

RAKUJITSU-NO-PATHOS

［ここまでの「落日のパトス」は］

漫画家を目指す青年・藤原の住む部屋の隣室にかつての恩師・仲井間が引っ越してきた。同じアパートの〝隣人〟として交流を始めた二人…。

藤原の後輩・まさみは藤原の仕事を水着姿で手伝うことに。そして、まさみの策略により二人は浴室で淫らな行為に及んでしまう。

一方、藤原とまさみの関係に嫉妬する仲井間。彼女は浴室で何があったのかを藤原から聞き出すことに成功する。

その後、連載が決定した藤原は仲井間を誘って食事に行くのだが、酔っ払った仲井間はマンションの空室に侵入してしまう。暗がりの中、興奮が増していく二人だが…!?

【人物紹介】

藤原 秋
Aki Fujiwara

連載漫画家を目指す青年。仲井間にかつて犯した行為を後ろめたく感じていた。
普段は物静かな性格だが、性的な好奇心は人一倍旺盛。

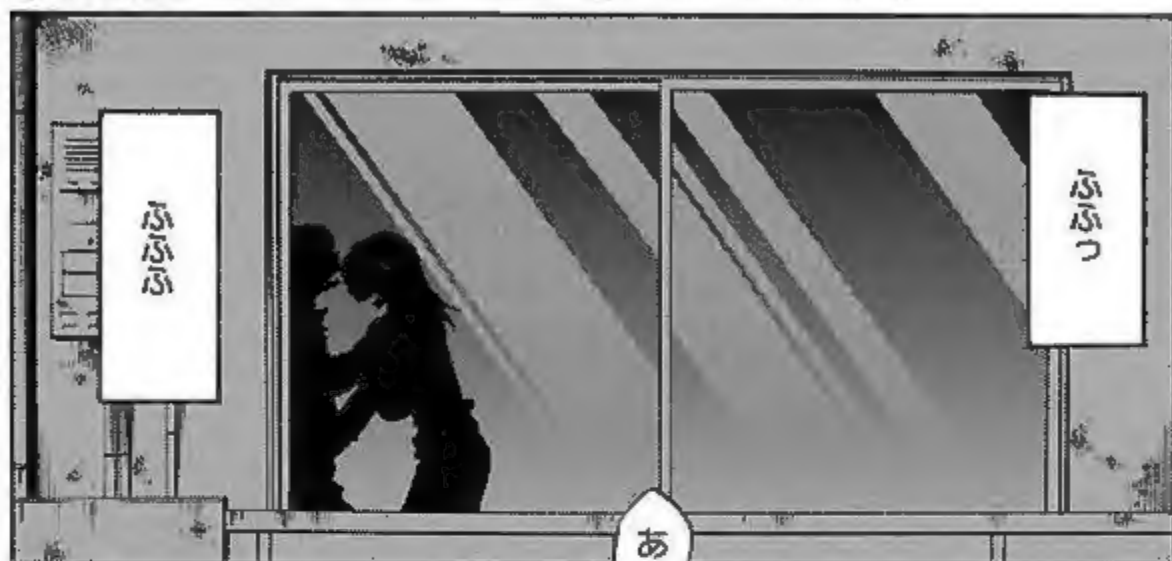
仲井間 真
Makoto Nakaima

旧姓：祐生。藤原の高校時代の恩師。現在は結婚し、退職。夫の仕事の都合で藤原の住む町に引っ越してきた。年の差婚で、男性経験は夫ひとりだけ。最近、夜の夫婦生活に物足りなさを感じている。

まさみ
Masami

藤原が大学時代に所属していたサークルの後輩。時々藤原の仕事を手伝ってくれる。垢抜けない感じの少女だが、胸が大きくスタイルは良い。
仕事に来るたびに忘れ物をしてしまう。

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第31話 なんでキミが攻めてるの?

ふふっ
ふふふ
あ
あっ
この空き部屋に入れたのはびっくりしたけど
…私もね
はっ
うすぐらいこの部屋に入ったときからちょっと…
ヘンな気分になってたの…
でも
アキくんきもちいい?
は…い…
もっと…強くしても…
さすがアキくんよね
ほんと…
ん…
ギュッ

第31話
なんでキミが攻めてるの？
こお…？
ああっ
ビクビク
ビクビクッ
おなじこと考えてるんだもの…！
グッ

はっ
あっ
あ
そこっ
あ
はっ
はぁ
……

アキくん…気持よさそう……・……
はっ
あっ
んあ

ゴク
ずるい…なァ
あ
ひとりで…
は
ね…
ねェ…っ
あ
は
モジ
モジ
モジ

あ…
アキくん…
アキくん…
も

さわって…い…
いいんだよ
……？
わたしの……
……も

アキくんの
…〝おいわい〟
なんだから
……
……
アキくんも

だか…ら…っ

わたしだって

もう
すこし

ズル
え
ちょ
うそ

うわ…
は
先生…ここ
ヌルヌル…ッ
あっ…
やっ…
ヌュル
はっ
チュクッ
なん…っ
だめえぇっ
は
いきなり…
直に…
なん…っ
チュプ

だって…
先生が……
そ…そりゃ…
いった…けど
あ…？
先生がさわって…って
ヂュ
クチュ
チュクッ
クチッ
先生…すごい音…
きこえる……？
これ…

やだっ…なんの…？
チュ
なんの音………？
ピチャッ
チュク
先生の…アソコ………
アソコに…僕が指をこう…あてると
ピチュ
ピチャッ
うそっ わたし!?
そうですよッ

せ…先生の
お……お……
お●んこが
クチュッ
ヌチュッ
僕が触ることによって
こんなに
いやらしい音をたててるんですよ
ピチュ
おっ…
チュク
つまりっ僕のを触りながらこんな…
ピクンッ
あ…ああ
こんなに濡らしたみたいに
あっ
興奮してたんだ先生…ッ
いや…あ…っ
チュピッ
アキくんなんで…
そんなにせつめいするの…
ヌチッ
ひどい…っ
だって…ボクのマンガは…セリフ攻めが売りで
はっ
はっ

ねぇ先生…
はぁ
はっ
おいわいしてくれるんでしょ……？
はっ
だから…
はぁ
ねぇ
はっ
その…脱いで
はっ
だめよ…
だめ…
はぁ
下…見せて…ください…
はっ
そんな…したら…
そんなの…
はっ

もし…しちゃったら…
大変なことよ？
はッ
は
これ以上…しちゃったら…
はぁ

わたし…さっきもっ…言ったよ…っ
はぁ
は
人…妻だし…っ
あ
呼吸がヘン

しません
はっ
え？
はっ

これ以上はしませんからっ
だから…でも見たいんです!!
見るだけ…だから!!
そんなの

見るだけ…？
それだけ…？
それだけ…

は
はっ
はっ
は

なにしてんの わたし
はっ
パサ
こんなトコで こんなコトして
はっ
はっ

こんな…っ
はッ
至近距離で…
だめよ…
さわっちゃ…
ああ
もっと
近づいて
だめ…
だから・ね
もっと…
アキくん…!

先生…の…
ああ
そこまで・・
あ…あ
息を感じる――
そこまでよっ
け…毛が…
毛が…濡れて…
光ってる…ッ

ほら
アキくん
はっ
いいのよ
はあっ
その
卑しい顔を
はあっ
埋めて
先生のっ…
先生の
匂いが…
はっ
はっ
そうよ
匂いのなかに
力いっぱい
口を
舌を
カオを
あ
あ
おしつけ

ドク
ドク
ドク

あ
あ
あ
ああ
あっ
あああ…
アキ…くんっの
ばか…あぁッ
うあ
あ
はぁっ
あはっ
あ
はっ

ああ…
だめ…
はっ
…ほんと だめ
はぁ
アキくんと わたし
あ
ちょっと
はっ
はあっ
ちょっと
はっ
はっ
狂ってる

4コマのパトス

先生のおしっこ!!
あびちゃった
ドキ
ドキ

どうしよう僕…
そっちのケはないんだけど
ひー
ひー

先生の身から出た貴重な体液だ
染み込ませておこう…

センパイ肌キレイになりました?
試供品の化粧水がよかったのかな
ホント?

第32話 おじいちゃんになっちゃうのかな?

先生…撮ってもいいですか…?

えっ!? いまスカートの下…こんなっ

あっいや!

顔です…! 上の方だけです……

あ…あぁ 顔だけなら……

わぁい!

じゃあ…暗いんで じっとしてて…

ありがとうございます……!
おお…今のスマホすごいな…
暗くてもこんなに…!

そんなの…どうするの?
そりゃあおな

おな

おっお守りにするんです……っ
僕の!
へ…へぇ…

でも…
ほんとに先生と再会してから
いい事がたくさん続いてるし

こうしてお守りにしてもっともっと頑張ろうと
アキくん…

それに…
これからほんとに忙しくなりそうで…

もうこんなエロ…
いえ楽しい事なんてそうそうは…
………
そうね…

……
ね…
アキくん…

はい？
その
わたし…
そりゃ
アキくんの付き合い
どうこう言う
つもりないんだけど…

あの…子の
事とか…
うん
どうこう
言う気は
ないよ？
でも…
もし…
もしも

あの子と・・・
なにかまた・・・
あったら
教えて
くれる…？

――どうして？

――と聞こうと思ったけど
…わかりました
めんどくさいのでやめた

じゃあ…
もし・・・なにかあったら…
それに
なんかそうした方が
また…
こうして…

こうして…2人きりの時
告白します…ね
またこんな淫靡な
そんな空間が作れそうな気がして——
……ん…

ほんとに
僕は
連載のために
ひたすら部屋で
ネームを原稿を
描き続ける毎日で

10月
気がつけば
あっという間に
一か月以上が
過ぎていた

たまに
コンビニに
行くのと
打ち合わせ
以外で
外に出る
こともなく

先生とも
廊下で数回
すれ違った
のみだ

先生の方も
ダンナさんが
しばらく
出張もなく
おうちに
いるとかで

あんっ
あぁあっ
最初の
一週間だけ
いつものあの
先生の声が
聞こえてきたが
あっ

最近は
どういう訳か
静かなものだ

そうなると
逆にちょっと
寂しくも
あったりするけど

――でも

漫画村
今の僕は
先生のあの写真だけで
はっ
は
あ
ギッ
ギシ
先生っ
毎日オナニーできてしまう
はっ
ギシ
ギシ
はっ
は
ドクッ
あ
あ
未だ冷めやらぬあの夜の記憶
あの…あたたかな……水……
ほう…
あの興奮……

あれは
あの
薄暗い…
誰のもの
でもない
あんな物件
だったから
っていうのも
あるんだろうな
……

あ
ピロ
リ
ーン
ピロリーン
……
まさみちゃんだ
まさみちゃん
センパイ
明日よろしく
お願いします!
そうか…
明日から
来てもらうん
だったっけ
ピロリーン

あの子と…
なにかあったら・・・
教えてくれる…?

先生…って エロいコト した事は
全部知りたい のかな…？
……
スケベだな…
フフ…
フフフ…
まぁでも…
こちらこそ よろしく
そんな事には もう…
ならないと 思うんだよな ……
だって

ガチャ
せんぱーい
お疲れ様でーす！

今回から一緒にアシスタントしてもらう
高杉ミツアキくんだよ
よっよろしくおねがいしますっ

えっ？
えっえっ!?
実は募集かけててね
でもアシ代も安いし全然こなかったんだけど
一緒…って…
おととい初めて彼が応募してきてくれてさ
まだアシ経験もあんまりないんだけど
話してたらいい感じだしやる気もあるし
あっいえっありがたいでっス 僕みたいな初心者をっ

じゃあ
とりあえず
ミツアキくんは
下のテーブルで
ごめんね
そのうち
机買うから
いえっ！
僕はここで
充分っス！
じゃあ
とりあえず
枠線入れて
もらおうかな
はいっ
センパイ
センパイ！
え？

それならそれでもっとベテランを……

あれ見てくださいよ

定規の持ち方からおかしいですよっ

あああ

いやでもほら

教えてあげたら…ね

はぁぁ…
せっかく私と2人でゆっくりじっくり…
え？
なんでもないですっ
背景あったらくださいっ
あー…はいはい
カリ
カリ
カリ
カリ
はー
まったくセンパイってば相談くらいしてくれても
はーー
はーー
あの…まさみ…さん…
まさみさん
ギロッ

ひぅっ
なっ…
ガタタッ
なにっ
ガラララッ
あの…
すいません
こっ
ここの枠は…
どっどういう…
ふうに
声かける時は
大きい声で！
はっきりと！
は…はいっス
えっと
ここはね
こっちと
こっちに
タチキリ
でー
あ
なっなるほど
あ
そんで
こういうのは
角を丸めて…
こう…
あぁ
ほう
………
はっ
ああ…
はっ

近いッ

ぐえプ

なんなのキミ!
いつもそうやって女に近づこうとしてんの!?
そんな
ますみちゃん
おちついてー
そっそんな!
ごっ誤解ッス!
ぼっ僕っ全然…リアルなおっ女の人ダメですし!
いっいやダメっていうか……興味ないッス!

は⁉
いやっ なんてゆうかっ こう…っ
なっ… 生身の女って めんどくさいしっ

いっ今のも… リアルだから 体温とか ニオイとかっ
そういうの 気になる わけでっ…
でっでも… 二次元なら そういうの ないじゃない ですか〜？

だっだから僕 マジで まさみさんに そんなつもり なくて〜
……

じゃあ
キミ なにが 好きなのよ？

えー…

好きって言うか
僕のヨメはもう
デレミスの
もりくぼ
ですし
ぐふふっ
ぐふ
やっぱ
見た瞬間
ほらっ
もう
運命？
天使？
ぐふ
ぐふふっ
さ…
さぁ…
仕事
頑張ろうか
………
…はぁい
ぐふふっ
はいっ!!
ともかく
僕の新連載の
原稿作業は
始まって

描きための原稿も
少しずつ出来ていったが
描きためるというのは
逆に言えば〆切がないわけで
やれるだけやった方がいいわけで…
これで4話目か…
なんか…
終わりがないな…
この2人にも時々帰ってもらってるけど
ねぇあんた彼女とかいたことあんの？
いっいやぁ…三次元はちょっと
童貞ですし！
聞いてねーし…
そんな時はほとんど僕も寝てるし
居たら居たでプライベートなんてあるわけもなし
ズズ…

ろくにオナニーもできないんだよな……

ほんの2週間前までは毎日のようにしてたのに

まさかこんなにしない毎日が来ようとは…

でも

なのに

ああなのになんだろう

今の僕にはまったく性欲がない…

あんなにたぎってた下半身がウソのようだ…

僕…このまま…枯れちゃうのかな…

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

ギャ
ギャ

2人共
仲良いねえ

やめてください
3次元に
キョーミ
ないッス!!

どいつもこいつも
ここの男共は…!!
わかるー
わかるわー

第33話
アシスタントがうるさいですか？
MONYOXILE

あと
トーンが
12…3枚か…
明日には
終われるかなー
…って
ことで…

今日は
ここまで
ですか？
そうだねー
まだこの先は
ネームもないし
とりあえず
終わりも見えて
きたし…

んじゃ
まさみちゃんから
順番にお風呂
入って

そんで
2人共休んで
もらおうかな

え？
いいんですか!?

センパイから…

いや…僕は
まだ少し
描き込みたい
とこもあるし

今から2人が
お風呂の間
仮眠とって

2人に
寝てもらってる間に
作業するよ

そうですか…
大変だけど
仕方ない
ですね…

がっ頑張って
くださいっス

じゃあ私
お風呂
いただきますね

あ じゃあ
僕少し横に
なってる
けど…

まさみちゃんが
お風呂上がって
少ししたら
起こして
くれるかな

わっかりましたぁー
じゃあ
お先お風呂
いただきまーす

はあ――――〜〜〜……
ゴロン

お風呂はいつも
まさみちゃんが
30分から40分
ミツアキ君が
15分くらいかな…
40分経てても
大丈夫だな…
お風呂…か

そういや
前にまさみちゃんが
来たとき…
お風呂で
あんなコト
したんだっけ…
フフ…
フフフ
よく考えたら
……
けっこう…
ムクッ
ムクムクッ
ヤッ
ヤヤヤッ
あ…あの
ア…アキ先生
どうか
しました…？
あ
いや
大丈夫！
そうっスカ
パタン
じゃあ…

すっかり…
枯れちゃったかと思ってたけど…
……
さす…
まだまだ大丈夫だな…!
僕!!
いやそれよりほんと…
寝ないと…!
ぬっ
ふっ
グフフッ
うおっ…これでも引けぬか…ッ
まみたんこない…っ

5万じゃ足りぬってか…?
フフッいいよいいよ
グフゥ
いいさぁっキミが望むなら
あと5万いってやろうじゃないか
まみたん待ってろっ
ぐふっ

風呂へ入れ
こんなとこで課金しまくってんじゃねーよ
げしっ
あっ
ああっ
はいっ
はいっ

あー…生身の女はニオイとかあるし…
キャラにならほんと喜んで
去ね!!
ブツ
ブツ
ブツ
ブツ
ブツ

シャッ
バタン
…………

…さて…

スッ…
フフ
せんぱい
せーんぱい♡
……ん……？
ギュッ

起こしにきましたよぉー

まっ……
……さみちゃん
……ッ
わぁ センパイ 寝起き いいんだー

あ
あっ
やぁだ センパイ
疲れてるのに こんなに元気
これは いわゆる その
疲れ・・・ ナントカ って…
疲れマラ ってやつ ですね…
下半身に 溜まっちゃうん ですよねー
いいん ですよー
じゃあ あのバカの いない うちに……
わたしが ……

あっ…あのお――

まさみセンパイ…ッ えっとぉ～～～

脱衣所にパンツ忘れてましたよぉ～～～～～？

ポタ

ポタ

はっ入る前みつけてぇ
いっ…いっぺん風呂入ったんスけどォ
やっぱ見かけた以上
ちゃんと報告するのが
こっ…後輩の義務かなぁと思いましてェ

えええッ
うわ
じゃあ穿いてたヤツ!?
きたなッ

振りかえり
反転しながら
ミツアキくんの
顔面へ

正確に
二度三度と
カカトを
めり込ませて
ゆくのと同時に

カリ
カリ
カリ
くー

ふう…
もうすぐ6時か！…
5:48

とりあえず…僕の手を入れる部分は終わったから…
2人が起きてきたら一気に仕上げておしまいだな
めき
めき
めき

……
ぐ～っ。。。
すー
寝る前に散歩がてらコンビニでも行って…
ガチャ
なんか食べてから寝るかな…
2人の朝ごはんも…
ペタ
ペタ
ペタ
ペタ
ペタ…
…!

あ
え
アキくんは…まだ仕事…？
はい…
せっ…先生……
こんな時間にどうして…っ
あお米切らしててね！
朝ごはんができないからって今コンビニまで…
ダンナさん朝は米派なの

じっ
？
どうしたの？
先生……
そんなカッコで…
コンビニ、行ったんですか…？
え
ヘン？
いえ…でも
…そんな…
谷間すごく
見えてるの…
あ
なんか
無防備な…
あ——

いや実はこの下
部屋で着てた
キャミで
ほら
シュル
たぷん
カーディガン
羽織れば
いいかなーって
思ったんだけど
目立ってる
かなー…ムネ…
ああ……
先生……
ボク…その
疲れてて…
?

えと…
癒し…
というか
なんか
こう…
先生が
相手だと
ほっとしたい
っていうか
容赦なく
エロ気が
襲ってくるのは
なんなんだろう
いつも
みたいな…
先生に
そういう
つまり…
すこしだけ
……その
ふたりきりで
……ッ
えっと…
はふっと…!!
そして…
わがままに
なるのも…
え……
はふ?
いやでも
今からって…
ダンナさん
もうすぐ
起きちゃうし…
ご飯
炊かないと
……
そこを
なんとか
5分っ

おねがいしますぅ…
ずっと…疲れて……なんか先生に…
癒されたいんですぅ……
でも…そんなの…
部屋にはアシさん達もいるでしょ？
………
この前の…あの３階の空き部屋なら…
５分…！
５分でいいから…！
………
じゃあ…
ほんと…
５分だけ……だよ？

まだ…鍵開いてたね——…
ガチャ
で？
ここでアキくんは——
ガバ
ふお
ぼふっ
あっ…
アキくん…っ
はあぁ…
先生……
先生の……おっぱいだ…
すは——

きもちいい……
アキくん…
ほんとに…
疲れてるん
だね……
そう
僕は
自分で
思っていた
以上に
疲れていた
だから――
ついさっきの
エロい気分すら
忘れてしまうほど
やわらかな
先生のおっぱいに
ただただ
癒されていた

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第34話
おばあちゃんになっちゃうのかな？

えっ
出張なくなるの？
403
仲井間
いやなくなるわけじゃないんだがね　若手社員にも回ってもらおうって事になってな
へー
おかわり
今はベテランばかりが取引先に顔だしてるし
先々の事考えてな
あー

この先の世代交代を見据えてってコトね？
ポ
ポ
まぁそんなトコだな
じゃあこれからしばらくは毎日一緒に晩ゴハンね
ああそうだな
それに…
フフ
フフフフ♡
ん？

あっ
あはあっ
あ
んっ
あな…たっ
いい
はっ

ああ
あ
あ
あっ
は、
は、
はぁ
まこと…
は
毎日は……
ムリだからな……
はっ
は、
はあい…

もー！突然でびっくりでしたわー

ブオオオオ

やー東京での予定がスポッと空いちゃってね

じゃあ！ってまことの事思いだしてさ

ごめんね急にー

ううん全然!!

どうせ家でゴロゴロしてたしさ

それにしてもマミは相変わらず旅ばっかしてんのねー

今まことは
仕事してないいん
だっけ？
うん
主婦専業
そっかー
まぁ
正解かもね
へ？

だって
あんたみたいな
天然が
よく教師なんて
やるなーって
みんな
言ってたん
だよ？
ぬぬぬ

まあでも我ながら
向いてないな
と思った事は
あるかもね
生徒指導とか
チョー苦手
だったしさ

でも
とはいえさー
家の中と
買い物くらいの
毎日だと
退屈したり
するんじゃ
ないの？

？
ほら
よく
あるじゃない？

専業主婦の
不倫ばなし!!

あんたのダンナって歳はなれてるしー
ふと近くに住んでる若い男の子と仲良くなって…とか
あ！もしくはあんたの元教え子とバッタリ再会して
そこからイケナイ関係に…とか！

あたしに
そんな器用なマネできると思う？

あー…
あーー
そうか…
そうね…あのまことだもんね
ほんっと学生時代もそのボディがどれほどムダかってくらい
クソ奥手だったもんな……
つかよく結婚できたよねェ……
うっさいわ
ふーんだ今そのボディはちゃーんとダンナさんのために活用してるよ！
うわー…エロいー
なにがっ
いやー今日はありがとね！急に来たのに
ううんこっちこそ楽しかった
……それにしても…そのダンナさんのせいかな？
え？

あの頃(アイリ代)よりも
まこと
なんだか女の
フェロモン
出てる
感じするよ

じゃあ
——！
ダンナさんと
仲良くねー！

うし!

よく動揺せずのりきった!!

わたし!!

ああもう あいつってば ホント

学生の頃からカンがおそろしく鋭いというか…

まるでアキくんのことを名指しで言ってるような……

こわいわー

全くしらないハズなのに

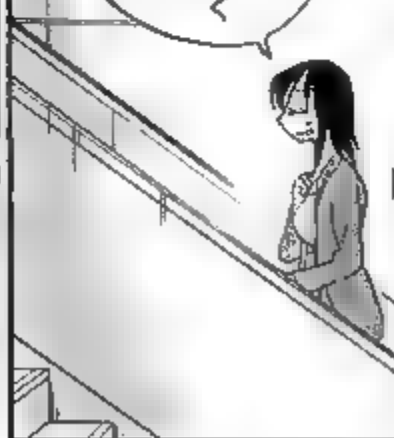
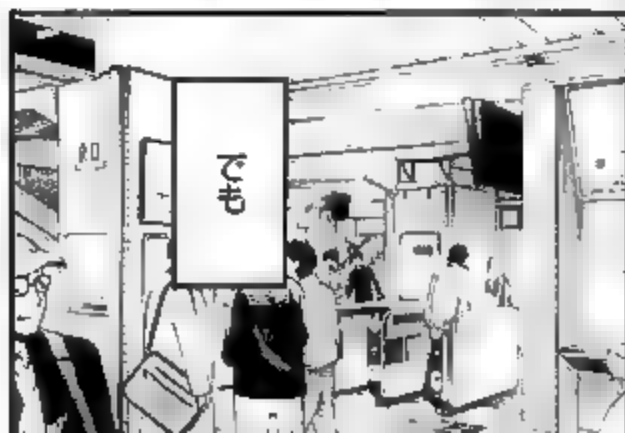
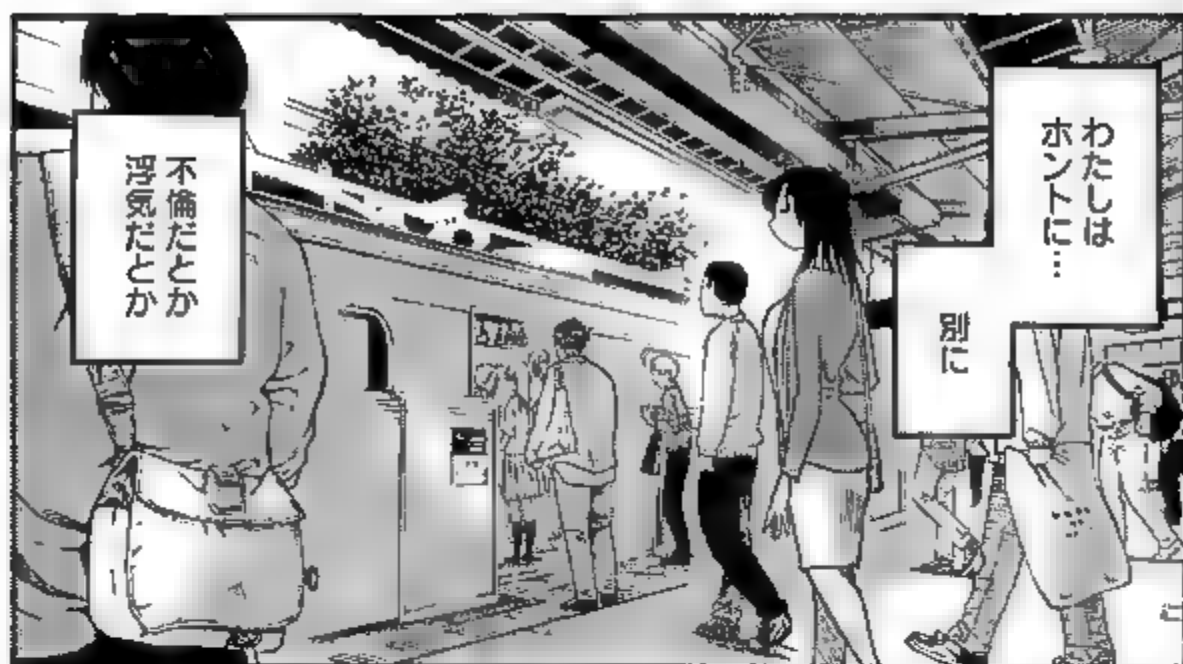
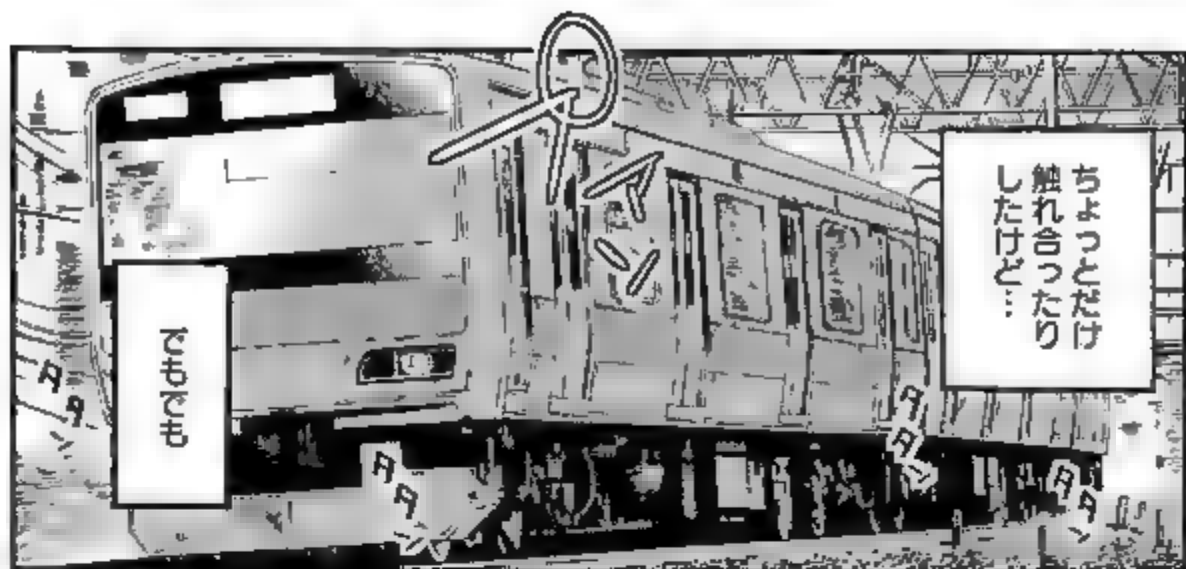
でも

わたしは
ホントに…
別に
不倫だとか
浮気だとか

そんな事…
……

そりゃ
たしかに
アキくんと

ちょっと…

ちょっとだけ
触れ合ったり
したけど…
ファァーン
ガタン
ガタン
でもでも
ガタン
ガタン

それでも
セックスは
もちろん
ガタン
ゴトン
キスだって
してないし

この前
だって…
ガタン
ゴトン
この前…
は…

この前
わたし
アキくんの
顔面に
おしっこ
ぶっかけたよね…
そういえば…

あれは…不倫以上に…

異常…

いや
たしかに
不倫とまでは
いかなくても…

タタン

タタン

ダンナさんと
仲良くね

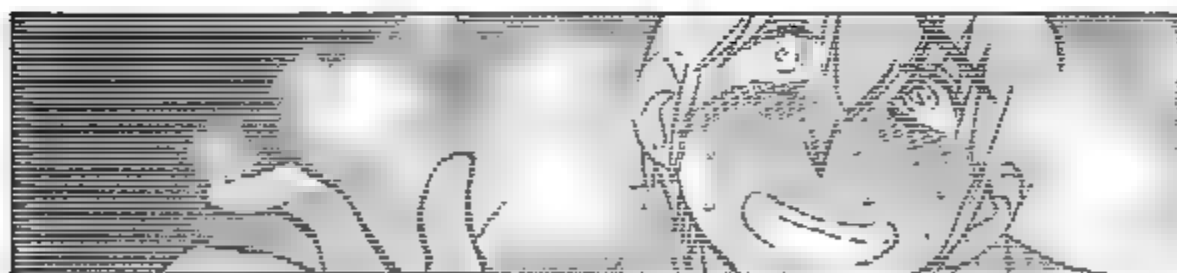
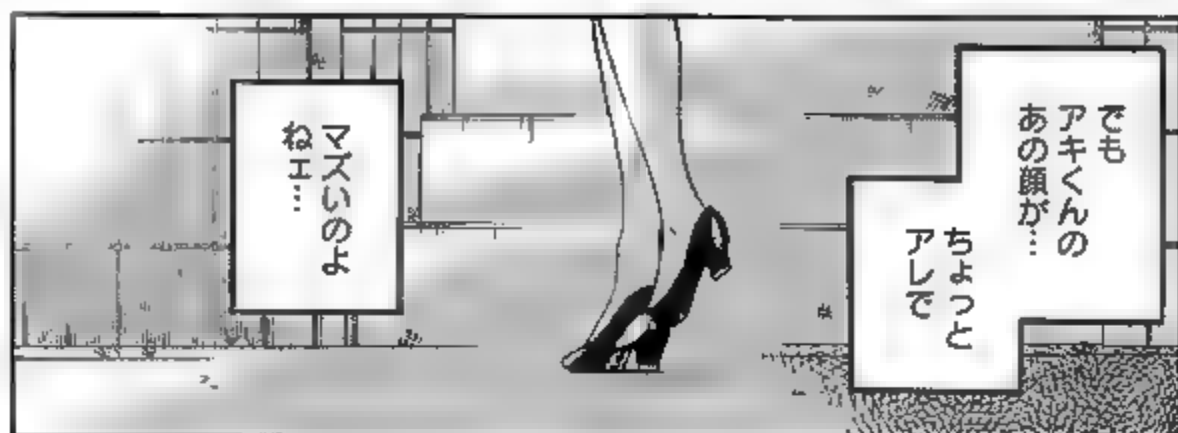
…うん
そうよね…

ダンナさんと
ちゃんと
仲良く
してたら…
あんな事
しなくたって
………

………

でも
アキくんの
あの顔が…
ちょっと
アレで
マズいのよ
ねェ…

でも
ダンナさんの
事ちゃんと
好きだし
ちゃんとしてる
トコも
尊敬してるし

うん
だから
大丈夫
ちゃんと
ちゃんと
コミュニケーションを♡

あっ
ギシッ
これは
んっ
あっ
はっ
はんっ
仲良し夫婦の
あんっ
あっ
まこと…ちょっと激しい…
証し…ッ

ああ…
でもほんとに
アキくんには
はんっ
ギッ
ひどい事
しちゃった…
あはっ
ギッ
よりに
よって…
顔に…
顔によ!?
あん
はっ
あ
でも
やだ
あの
暗がりで
あっ
アキくんは
見たの
かしら…
あんっ

マンコ…
マンコから でる…とこ
あんな
あんなに 間近で…
ギシッ
ああ… そんなの…
は
お
ズッ
あ
ギシッ
ズッ
おい… まこと…っ
あは
ズリュ
まこと… ダ…メだ
ギシッ
ちょっと…
あ
ギシッ
は
ああッ
い゛っ
ギシッ

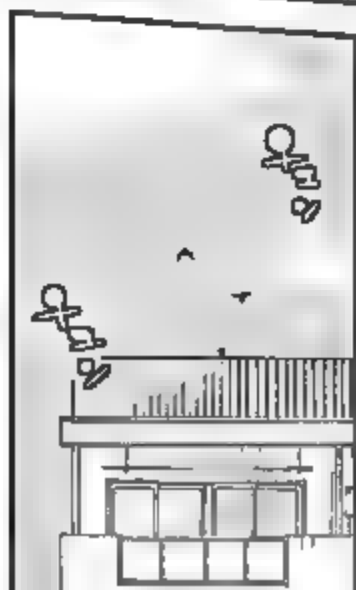
えっ
えっ
あなた？
大丈夫⁉
え？
おっ…おお
お…
お…っ
プル
プル
プル
プル
プル
プル
腰が…
え
大丈夫⁉
救急車
よぶ⁉
いや…
まず
おりてくれ…

ねぇ…本当に腰大丈夫？会社行ける？
ああなんとか…ね
ゆっくり歩いて行くよ
…ごめんなさい…
いや…もういいよ
ただ
しばらくはアレ…
控えよう……な
いってきます
…いってらっしゃい
はあ…
しばらくナシ…か
そりゃ…そうよね…

キラ

アキくんとこも
忙しくなるって
言ってたな…
そういえば

あー
だめだめ

そういうコト
考えちゃ
それが
そもそものまちがい！

夫とのエッチもなく
ひとりエッチもせず
ただひたすら主婦として生活をくりかえし
コーヒー飲む？
ああもらうよ

そしたら
フシギ…
なまじ期待をしなければ
…ヘンな気もおきなくなってくる…

あんなにサカってた自分ってなんだったんだろう？
性欲ってなんだろう……

ああ……あたし今なら…
尼になれるかもしれない…

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

枯れてオバサンになっていくのを実感したわー…
なるほどー

第35話

むう……
……なんだろう
なんだか…肌が
パサついてるかんじ……
おフロあがりなのに
やっぱ…アレかな
潤いが足りないのかな―……
……
ああ…そうか

世の中の所謂
オバサンと
いわれる人は

フフ

カサ

カサ

わかってるわよぅ

こうして

枯れてゆくんだな

〝オバサン〟ってのはみんなこんなのか……

そーよー

あの先生イケてるのよ!

わかる!

ちょっと狙いたくなっちゃうのよね!

かわいくて!

そーそーそー!

もー
ヨダレふいて
話聞いてる
ようなもんよ
ワハハハハハ
ドワハハハハ
やだ
奥さんっては
肉食ー！
ガハハハハ
でも
実際
どうする
そばに
いたらねェ
…
ニヘー
いやだもう
想像しちゃったら
ダメよお
オヤオヤ
……
あんなのも
いるのか…
そういやほんと
アキくんとも
全然
会わないなァ…
忙しいん
だろうなあ
そもそも女の
〝潤い〟って
なんだろう？

…あの子と
…2人で…
ずっと…
仕事してるのか
……

……
モヤッ

ガチャッ
!
あ

どーっ
どうもっ
こんにちはっ
あっちがっ
こんばんは
かな
ペコ
あ…はい
こんばんは
……

あっ…ボクは
買い物
行くのでっ
ハイッ
ではっ
ペコ
ペコ
あ…
いってらっしゃい…

…そうか
今は
あんな子も
来てるんだ
……
2人きりじゃ
…ないんだ

まっ
関係
ないけどねっ

あ

お米…
買ってくるの
わすれた…

えー
明日の朝
米ないのか？

うん
ちょうど
このご飯のぶんで
なくなっちゃって…
だから明日は
パンにしようかな
…って

いやーやっぱ
朝は米でないと
力でないよ
ずっと僕
そう言ってたろ？

わるいけど
おにぎりでも
いいから
買ってきてよ

はあい

なんだろうなー
うちのダンナさんってひょっとして

亭主関白ってやつなのかしら
こうまでして食事スタイルを貫くんだもんなー

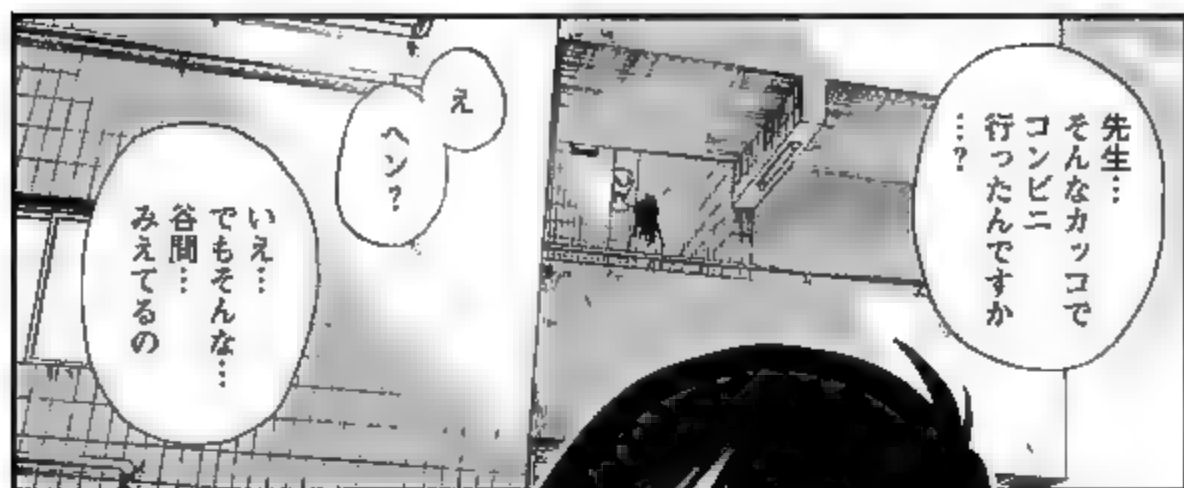
米がないならパンを食べればいいじゃない
そしたらこんな時間にコンビニ行かなくたっていいのにさ
……
なんかわたし

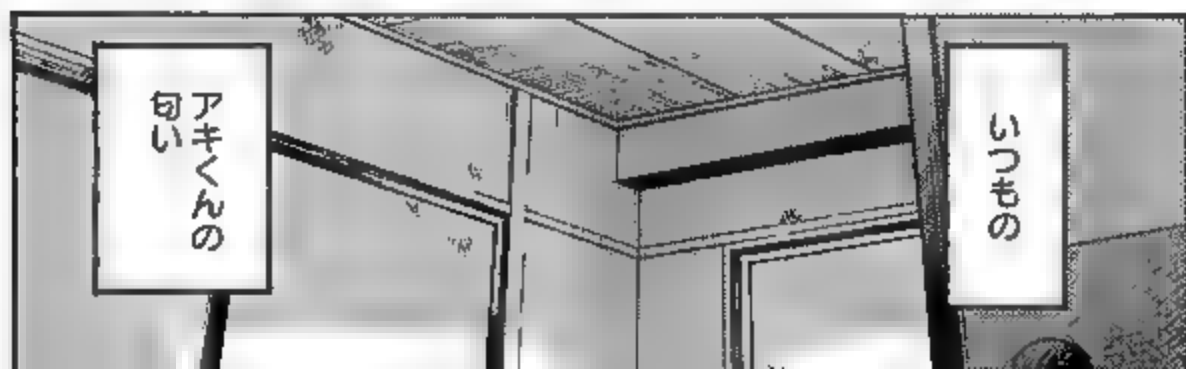
気持ちが荒れてる…？
いままでこんなふうにダンナさんに思ったことないのにな
潤いがなくなるというのは…
気持ちが荒れることなのか…
！
あ
え

せっ…先生こんな時間にどうして？
あお米切らしててね朝ごはんができないからってコンビニまで…
そうでしたか
アキくんは…まだ仕事中…？
なんだか
はい…
……
朝日の中で会うなんて
ヘンなかんじ…
こんなさわやかな光の中だと…
?
アキくんとあんな…Hなコトしてたのがウソみたい
どしたの？

先生…そんなカッコでコンビニ行ったんですか…？
え
ヘン？
いえ…でもそんな…谷間…みえてるの
あー
この下部屋で着てたキャミで
カーディガン羽織ればいいかなって思ったんだけど
目立ってるかな？…ムネ…
先生…
ボクその
疲れてて…

えと…癒し
というか
なんかこう…
ほっとしたい
っていうか…
先生に
そういう
いつものみたいな…
つまり…
なに？
どうしたの
アキくん!?
少しだけ
その…
ふたり
きりで
えっと
はふっと
…！
はふ？
えっと
つまり…なんか
2人きりに
…ってこと？
それは…
いやでも
今からて…
ダメよ…
だって
ダンナさん
もうすぐ
起きちゃうし
……
ごはん
炊かないと…
そこを
なんとかっ
わたし…
ちゃんとしようって
決めたんだし…
おねがい
しますぅ…
ずっと
つかれて…
…なんか
先生に…

先生に…
癒されたいんです ぅ…

いやあ…
でっ…でも…
部屋でアシさん達もいるんでしょう？
私が…？

こっこの前の3階の空き部屋なら…
5分…5分でいいから…
こんな
わがままいうアキくんもはじめて…
ほんとに…私に…

癒しを…
じゃあ…

ほんと…
5分だけ…だよ?
そう…疲れてるアキくんを…さ

い…癒してあげるだけだもの…
そうだわ
アタマをなでてあげたりとか…

あっ…アキくん？
ちょ…
はあああ
先生ェ…
先生のオッパイだ…っ
むふー
ふすー

……
ズル ル…
…アキくん…？
すー…
……！
寝てる…？
すー…
アキくん…ほんとに
すー…
疲れてるんだね…

ああもう
かわいいなあ
アキくんてば

あ
このにおい
いつもの
アキくんの匂い

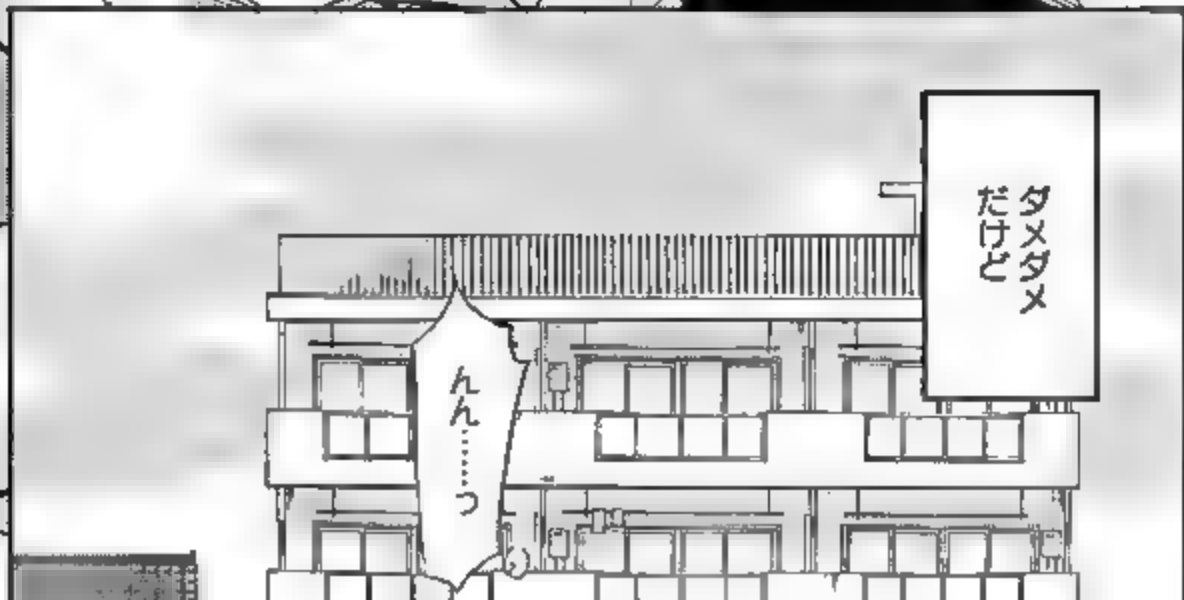
あの嵐の夜
ハダカですぐそばにいたときの
満員電車で
ぴったりくっついてたときの
よっぱらってヘッドロックした
あのときの……
……うわ…だめだ…
アキくん
アキくん
ドクン
ドクン
ドクン

もっと
グググ…ッ
ほら
私のとんがってるトコ
ぎゅうう
あ
ぎゅっとして……ッ
あ
あ
うう

あ…ああ…あ

おはよーございまーす
あんたいつまで寝てんのよもう昼よ！
まーまー

ほらがんばってラストスパート！ね！
はあい
ああ…アキくん元気になったのかな…

ヌチッ
んっ
よかったね…
ふっ
ずぽッ
ジュッ
んんっ
んっ
……っ
でも
アキくんのせいでわたし
ダメダメだけど
んん……っ

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第36話
二人で温泉って
いやらしくないかい？

こんにちは！
えっ
あっ昨日のお隣さんっ
こんにちはっス!!
買出し？大変ね
はっ仕事が終わったので部屋で打ちあげをと……
あー原稿できたのね
ア…センセイにお疲れ様って伝えといて
ハ…ハイッ

ちょっとお
なにこれ！
打ちあげ
でしょ？
飲むんでしょ!?
酒とつまみっ
つったのに

なんで
ケーキと
からあげ!?
しかも
それ
オンリーっ
てなに!?
からあげサン
Regular

いやだってほら
お酒の後は
甘いものがって
なるっスし
やっぱ
ビールには
からあげっス
からあげの
他にもなんか
あるでしょうが!!
だからって
こんなに
甘いの
ばっかり
どうすんの！
なんなのよ
あんたの
センス
まあまあ
とりあえず
いいじゃない
からあげサン
僕も好きだし
えーと…味は
………
アレ？
あ！
レギュラー味
オンリーっス！
えっ…
………
…そう…

まあ
ともかく…
おつかれさまでした
――――!
かんぱ〜い
あ
そういえばさっき…?
ていうか
昨日も
お隣の女性からあいさつされたっスよ!
あっ
そうなの!?
漫画描いてるの知ってるんスね
お疲れ様と
お伝え下さいって
そっか—

感じのいいひとっスね
まあねー
……
モ

それに…グフッ
ずいぶんオッハイもおっきくってて
んふっびっくりしたっす

キモッ
そしてセクハラ!
あっ
でも誤解しないでほしいっス!
ただナマであんなの見たことなくてすげえって思っただけでっ

なっ…生身の女性にはキョーミないっスからっ
僕の今のヨメはビューマたんオンリーッスからッ

さらにキショッ
そしてケーキをつまみにビール飲んで
それもキモッ
え〜〜〜あんがい合いますよう〜〜〜〜〜？
モッ
モッ
ねえセンセ？
……
しーん
んなわきゃないでしょーが！
ためしに食べてみて下さいってホラ
わーっやめてやめてっキショ
まあしかし
こうして言いたいこと言えるのって
間接キスになっちゃうでしょうがッ
ならないっスよう
なるわよッ
逆に気心がしれてるからってことなのかもなァ
じゃあ新しいケーキを
いらないっての

漫画村

まあ
でも
からあげサンは
レギュラー味が
王道っての
だけは
認めてやるわ
あっあっ
やっぱ
そうっスよねっ
変化球は
いらない
っつーか
え…
チーズ味とか
めんたい味とか
ほしい…

いやぁ
それにしても
5話分って
さすがに大変
でしたねー
いやー
ほんとだよ
2人が
いなきゃ
ムリだったなァ
ほんと助かったよ

こ・い・つ・も
なんだかんだ
慣れて
きましたしねー
ホント
はじめは
どうなるかと
思ったけど
グラ
グラ

まさみちゃんも
すっかり
先輩アシ
板について

かっこいいねー

やっだー……
もう…
センパイ
ってばー
照れます
よう
ふふ

はっ

いっ…いま
何時っスか!!
ガタッ
え？
11時くらい
かな
やべっス!
今日から
はじまる
デレミスの
録画予約
してないっ
ってぃう
わけで
帰りますっス!
え
お疲れ様
でした
あ
ガシャ
ドタ
バタ
タタタタ…
……
……
なんだか
なァ
ハハ
ま…
これで
静かに
飲めますね
………

じゃ

あらためて
しっぽり
飲みましょうか

あ
ありがと

んーでも
僕も

だいぶ
酔って
きちゃったなァ

えーせっかく
うるさいのが
いなくなった
のにい

ハハハ

でも
おつまみも
なくなっちゃった
しね…

あんなにあった
からあげサンも

あら わたし
おつまみ ありますよ？
へ？
ほら
え

はむ

ん…っ
ルロッ

うわ
にゅるん
うわ
ぞわ
ぞわ
ちゅ
にょろ

ぞわぞわ
ぞわぞわ
これ
にゅる
にちゅ
にゅる
すげえ

はっ…
あっ
はっ
ぬちゅ
んんっ…
んんんっ
ゴーッ
ゴーッ ゴーッ
ゴーッ

は…　あーーーッ

もう
わたしっ

……

これだけで
何杯でも
イケますっ

暑くなって
きちゃった

わたし
上着

脱ぎますね

うお

隣座っていいですかっ
すっ
あっ
うんっ
いやそのっ
前に水着姿も見てるのに
これはこれで新鮮っていうか
正直ビールじゃわたし全然酔わなくて
やっと少し
まわってきたかなー
ススス
おふ

ほら
じゃあ
センパイも
センパイも
つまみます…？
わたしの
ほら

あ…っ
パク♥
ビクッ
ビク
ビクーンッ
あ
ビクーン
エロい
ね…センパイ…わたし
来月…誕生日なんですよ…
あっそうなんだそりゃ…
それでね
ぽっ
漫画村

夏にセンパイと海に行けなかったかわりに——
2人で旅行に行きませんか？

りょこう…!?
もちろんスケジュールのあいてるとき
ネームのあがった後とか一泊くらいで

これから涼しくなるし…
温泉とかどうですかね
ほらよくあるじゃないですか
カップルで入れる
貸切の露天風呂とか
カップルで…!!

ここじゃ音がもれちゃうから……これ以上はダメですけど
温泉旅館でふたりきりなら……
"ここじゃだめ"…?
これ以上
これ以上って…?!
温泉で2人で!?
い…
いいねエ…
じゃあ…
ガチャ
ただいまっスー―!
バタバタ

やーよく考えたら
僕のHDDレコーダー
スマホから
予約できたっス
せっかくの
打ち上げ
だし
やっぱ戻んないと
って——

さーさー
飲みなおし
ましょうっス！
あっ
おつまみ
たりないかと
また
買ってきたっスよ
からあげサン！
あと
ケーキ！

ミツアキ
ぶっころす！
あっ
なにっスか
どうしたっ
スか！
やめて
下さいっス
うるさい
うるさい！
うわー…
またぜんぶ
レギュラー味
だぁ……

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-

PATHOS

第37話

どこでそんなこと覚えたの？

403
仲井間
え
有給消化?

ああ
全然使ってなかったんでな
それで総務に社の保養所でもどうですかとすすめられてさ
保養所

熱海にあるんだけど
温泉もあってな
わあ温泉いいなー
うんそういうと思ってさ
もう決めて来たよ
へ

来週の
水・木にね
一泊で
来週…
ずいぶん急な
保養所
っていっても
ホテルだな
実際は
食事も
ついてるし
驚くほど
安いんだよ

僕は
前日まで
仕事だからさ
まこと
準備
よろしく
頼むよ
あ はあい
温泉か
……
まあ わたし別に
予定もなにも
ないしな

温泉浸かって
ダンナさんの腰が
よくなるかも
しれないし……

さておかいもの
それでもなー
2人で旅行
行くんだからー
相談くらい
してくれても
いいのにな
……っと
！
あ

こ……こんにちは

こっ…こんにちは

きまずー……

…あの

自己紹介まだでしたね

わたし神保まさみです

ご存知のとおりセンパイのアシスタントやって
自分のマンガも描いたりして
まあマンガ家のタマゴですね
あ…あーそう…なのね

あ わたしは仲井間真おとなりにいて……
ってそれは知ってるか
何度かニアミスしましたよね
ふふっ

センパイと仲良さそうで
まるでなんだかお姉さんみたいだなーって思ってたんです
わたし…昔…教師やっててね
藤原くんのクラスの副担任だったんだよ
え

先生だったんですか!!すごーい！
はは
結婚を機にやめちゃったんだけどね

こっちきて偶然再会して…
ちょっと仲良くしてる感じかな？
そっかー

昔の恋人とかいわれたら
どうしようかと思っちゃった

へっ
じつはこんどーセンパイとー
旅行行こうかって話してたんですよー
2人で！

それじゃあ またー!

あ…はい…… またねー

2人で… 旅行…… か……

まあ…

ホントに 2人で行くのか どうかは ともかくとして

タタタン

タタタ

タン

あの子だって
そりゃ
気付くよね

わたしと
アキくんの
不穏な空気は
……

ましてや
アキくんのこと
好きだってん
だから……

にしても

…2人で
…旅行
……か

漫画村

似たような
話が
重なるな
……
…とはいえ…
ポイント5倍セール!
意味が全然
違うじゃんね…
アキくん…

そうか…
しかし…
ああ言ってるって
ことは
ゴロ
ゴロ
ゴロ
ゴロ
ゴロ…
アキくんも
OKしたって
ことか…

アキ…くんが
……
ンペーン
2倍
たばこ
酒
!?
キャンペーン
2倍
ウィーン
ふわぁ
たば

あ…っ…
アキくん!?
なんで…
あれっ
先生
おはよう
ございます

ポイント2倍多かり
まだ
寝てたんじゃ
……
あ はい
さっきまで寝てて…
起きてとりあえず
メシでもと…

―って…
あれ…?
なんで
そんなこと
知って…

……

さっき帰る
まさみさんと
はちあわせて
一緒に
駅まで…
ビクーッ
えっ…

な…なにか…話…を
ん…別に改めて初めましてって自己紹介とか…ね
そ…そうですか……
あと一緒に旅行するんだーって
嬉しそうにゆってたよ
…ッ
や…それは…
絶句
……ッ
……
いいよ別に

いっ…
いいよって
…そんな…
だって
そうじゃない？
そっちは
独身の
若い2人な
わけでさ
わたしみたいな
年増が
どうのこうの
言うことじゃ
ないし
……
年増だなんて
先生…
ぜんぜん
若々しいし…
喋ってたら
それこそむしろ
幼いっていうか
は!?
なにそれ
わたしが
バカって
こと!?
いやっ
違いますっ
そんな
ただ…
すぐ
そうやって
ムキになって
…すねるから
………
……
だって

ドサアアア
うわっ なに
ゲリラ豪雨!?
カミナリ まで…
ちょっ…
どっか 雨やどりを……っ
公園しか ないわよっ
あ!
あそこ!
あの中に…!

思ったより
せまいですけど…
雨がやむまでの
辛抱です……
……

先生…
寒いんですか……？

え？ううん平気
寒くはない！
でも震えてるじゃないですか
うん震えはちょっと

ぱしっ
!!
やっぱり…先生の手冷たい…

これで少しでも温まれたら……

アキくん…

よく考えたら僕……

先生の手…こうしてちゃんと握るの…初めてだ…

…そういえば

先生のゆび……
細いんですね…
あ…

なに…してるの…アキくん
あの…
きれいで…
つい……

!?
こ…っ…
こんなの…
彼女と
すれば？
うわ
なにいってんの
わたし

前も言いましたけど……
・・・・かのじょじゃあないです……
これは
先生のゆびだから…
です
ん

なにこれ

……!!
……はッ
ゆびで
……ッ
こんな
だっ…め…

ゆびで
いっ…
だっ…　でっ　出っ…
るっ…うう…ッ
？
『落日のパトス』第⑤巻／完

4コマのパトス

あとがき

さぁ5巻ですよ！

お買い上げありがとうございます。
先生とアキくんはますます
イカれてきました!!
描いててとても楽しいです♪

新キャラのミツアキくんは
モデルがいます。アシスタントでは
ありませんし見た目も違いますが
行動はおおむね
あんな感じのコです。
これから色々活躍して
もらうつもりですよ。

さて次巻はいよいよ
熱海編です。
またのしみに!!

2018年1月 雪の日。

RAKUJITSU-NO-PATHOS
次巻予告
もう、理性の限界は超えた…。
本能をさらけ出す二人…。
激しさはどんどん増していくのみ…。
は
あ
ひぁ
は
おもらしして…
泣いてるなんて…
背徳の隣人愛欲物語。

見ちゃだめええぇ…っ
この情愛の行く末は…!?
コーフンはとどまることを知らず!?
そして物語の舞台は熱海へ!
なんて
コーフンするんだ
加速度的に崩壊していく秩序…。
『落日のパトス』最新第6巻を乞うご期待。

■ヤングチャンピオン・コミックス■

落日(らくじつ)のパトス⑤

2018年3月1日　初版発行

著　者　艶々(つやつや)
©Tsuyatsuya 2018

発行者　沖　浩

発行所　株式会社 秋田書店
〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-7362　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　三報社印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-14075-1

デジタル版　2018年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com